

大 津 朝



千葉県助産師会

第 49 号 令和 8 年 3 月

1. 会長挨拶

(一社)千葉県助産師会 会長 志村 千鶴子 9 地区 亀田医療大学大学院

2025 年度事業計画は、会員の皆様のご協力とご尽力により、無事に終えることができました。会員の皆様に心より感謝申し上げます。

前年度に引き続き、自治体の産後ケア事業受託件数は大きく増加し、妊娠期から出産後・子育て期まで、切れ目のないケアの担い手として、地域での助産師の活動に益々期待が寄せられています。また、生と性の健康教育においても、幼児・小中高生以外に保護者や教員、一般の方からの様々なニーズに応じ、多様な講座を開催することができました。助産師による電話無料相談は、講師の人材育成と確保に努めながら、幅広い年代の方の相談に対応し、利用者様から高い評価が得られています。下半期には、学術団体主催の学術集会への協力依頼や、企業からのセミナー共催依頼があり、妊娠・出産・育児の現場だけでなく、広く健康の守り手として、助産師の専門性をより発揮することが求められる時代であることを実感しています。

次年度は、千葉県助産師会創立 100 周年記念式典を 9 月 26 日(土)に開催予定です。現在、実行委員会を中心に精力的に企画を考えていますので、多くの会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。



CONTENTS		
1. 会長あいさつ	1
2. 千葉県助産師会通常総会	2
3. 会計からのお知らせ	2
4. 助産所部会研修報告	3
5. 教育委員会研修	4
6. 子育て委員会活動報告	5
7. 産後ケア (市川市)	6
8. 創立 100 周年記念事業	7
9. 表彰者	7
10. 編集後記	8

2. 令和 8 年度 一般社団法人 千葉県助産師会通常総会

次第	令和 8 年 4 月 26 日(日)千葉県文化センター開催
9:30	受付
9:55	オリエンテーション
10:00	開会宣言 会長挨拶 来賓挨拶 表彰(令和 7 年度)
10:30	選挙
10:45	総会開会
議長団選出	審議事項
	第 1 号議案 令和 7 年度 活動報告
	1. 運営会議・理事会報告および事業報告
	2. 地区部会 活動報告
	3. 専門部会 活動報告
	4. 委員会 活動報告
	5. 行政および関連団体等への参加状況報告
	第 2 号議案 令和 7 年度 収支決算報告および監査報告
	第 3 号議案 令和 8 年度 事業計画(案)
	1. 事業計画骨子(案)
	2. 地区部会 活動計画(案)
	3. 専門部会 活動計画(案)
	4. 委員会 活動計画(案)
	第 4 号議案 令和 8 年度 収支予算(案)
	第 5 号議案 役員改選
	第 6 号議案 その他
12:10	総会閉会
12:15	部会集会
13:10	令和 8 年度 第 2 回理事会

3. 会計からのお知らせ

1. 令和 7 年度すくすく赤ちゃん献金について

皆様のご厚意によりお送りいただいた献金 12,073 円は、2 月末に日本助産師会へ送金いたしました。母子保健及び児童福祉等の増進のために活用されます。ありがとうございました。

2. 退会・異動のご連絡と会費について

退会・都道府県異動のご連絡が 4 月 1 日以降になりますと、口座振替や振り込みで納入された令和 8 年度会費の返金はできません。令和 7 年度末(3 月 31 日)までに退会・他県へ異動の手続きをされていない場合、会費を納入されていない方も在籍扱いになりますので、会費の納入をお願いすることになります。

3. 日本助産師会・千葉県助産師会の年会費について

支払いは、口座振替をご利用くださいますようお願いいたします。領収書が必要な方は、会員 MY ページからダウンロード・保存・印刷をお願いいたします。

4. 助産所部会研修報告

助産所部会 米丸充咲 5地区 あびこ助産院

「お産を取り扱う千葉県内の助産所の未来のために」研修を終えて

～医療連携の理想的な静岡モデルに学ぶ～

現在、千葉県のお産を取り扱う助産所は11件あります。年々、分娩を取り扱う助産所が減少しており、それに伴って分娩件数も減少しております。その原因として挙げられるのが、嘱託医、医療機関の確保が難しく、開業できず諦めるケースがあります。個人の努力ではどうにもできない現状があり、お産を取り扱う助産所の存続をかけて組織で考えて行動に移さなければいけない状況になっています。そこで、静岡県で開業されている『くさの助産院院長の草野恵子先生』をお招きして、医療連携の理想的な「静岡モデル」を学ぶ事となりました。

・小さい助産所同士がお産時協力し合うので、常時、助産師を雇用しなくても経営が楽である。

→助産師同士のつながりを大切にしている。

・県(市)助産師会が病院と嘱託医医療機関契約を結んでいるので、助産所を開業しやすい。

→関係団体と顔の見える関係を大切にしている。

お産を取り扱う千葉県内の助産所の未来のために大変参考になりました。

最後に、草野先生のお人柄と真摯なお気持ちが信頼関係を築く運びとなり、スムーズな医療連携が出来たのだと思いました。また、助産師同士の連携が素晴らしく、何よりもお産が楽しそうでした。

千葉県でも助産師同士のつながりを大切に、未来のためにお産を取り扱う助産所を残していかなければと心に刻みました。



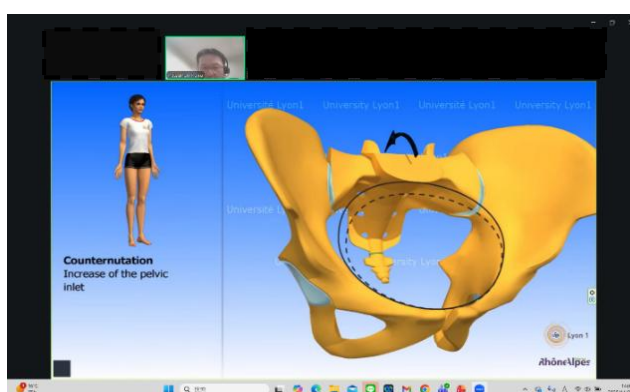
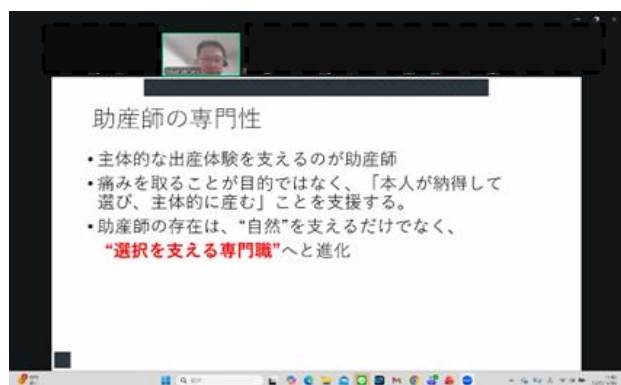
5. 教育委員会研修会報告

教育委員会 山田万希子 6地区 城西国際大学 看護学部

石井恵美子 6地区 城西国際大学 看護学部

2025年11月30日「無痛分娩を希望する産婦への支援」 レディースホームクリニックやわた 院長 計良和範先生

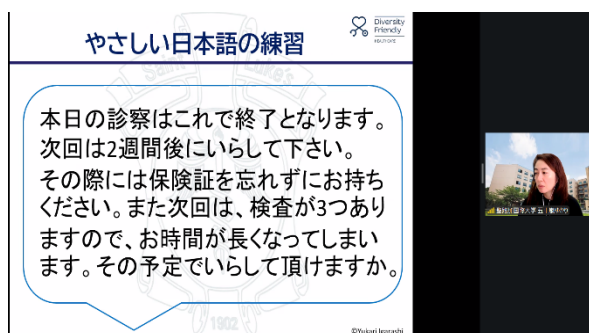
オンラインにて「無痛分娩を希望する産婦への支援」研修会(講師:計良和範先生)を開催しました。無痛分娩の希望者が増えている現状がある中で、千葉県内の助産師だけではなく九州地方や都内の方の参加もあり、実際に関わっている助産師やこれから無痛分娩をする施設に勤務する助産師の質問に丁寧に対応していただきました。回旋異常を防ぐための支援や助産師のフィジカルアセスメント能力の必要性を学び、産婦が無痛分娩を希望する場合のインフォームドコンセントやその後の意思決定を支える助産師の支援についても考える機会になっていました。分娩体験の満足度は、痛みの有無よりも「支援の質」「意思決定への参加度」を学び、「骨盤可動性と体位を意識してポジショニングや誘導を行う」という助産師の介入ポイントを学ぶことが出来ました。最後に、計良先生より「無痛分娩こそ助産師の技量が発揮される」という言葉を聞き、更に無痛分娩について勉強をしていきたいという感想も多く聞かれました。



2026年1月25日「外国人母子への助産ケアで大切なこと」 聖路加国際大学大学院 教授 五十嵐ゆかり先生

オンラインにて「外国人母子への助産ケアで大切なこと」研修会(講師:五十嵐ゆかり先生)を開催しました。クリニックや病院、新生児訪問等で、外国人妊産婦と家族のケアをする機会があるかと思います。研修では、異文化看護とウイメンズヘルスを専門とされている五十嵐先生から講義していただき、私たちが日頃モヤモヤしていることや質問に答えていただきました。講義では、<1. 外国人の人口について 2. 異文化看護(TCN)について 3. 異文化コミュニケーションに大切なポイント>を多くのデータ、具体的な方法、外国人妊産婦や通訳の動画を用いてわかりやすく示され、<4. 演習>では事例について一緒に考えました。先生は「すでに皆さんが日頃行っていることを確認するつもりで聞いてください。」と話され、参加者にとっては自分のケアの振り返りの機会にもなっていたと思います。

五十嵐先生もかかわられている多文化医療サービス研究会(RASC) <http://www.rasc.jp> では、<ママと赤ちゃんのサポートシリーズ> 出産パンフレットを20言語で作成しているので、活用してみてください。



6. 子育て委員会 活動報告

子育て委員会委員長 石井智美 9地区 はじめのいっぽ助産院／木更津市役所 母子保健コーディネーター
令和7年度の「助産師の電話無料相談事業」は
昨年度と同様、週2回(月・金)9時から12時の時間
帯で開催しました。

今年度(4月～12月)の「相談件数」は223件で、
昨年度の251件と比較し、やや減少傾向でした。相談
内容は「授乳・離乳」に関するものが最も多く、次いで
「育児不安」「子どもの健康・発達」
「妊産褥婦の心身」に関する相談が続きました。

身体的なケアに加え、育児や生活に伴う
心理的な不安への支援ニーズも多く、助産師による包
括的な対応の重要性がうかがえます。

「相談者の年代」は30代女性が中心でしたが、50～60代から
の相談も少数ながらみられ、娘や孫の育児に関する支援や、更
年期・老年期の身体的変化に関する相談も含まれていました。

協力員の苦手意識や不安を補う目的で、7月に「更年期のウイ
メンズヘルス」研修会を開催しました。会員を対象に50名の参加
があり、協力員のみならず幅広い会員の参加が得られたことは、
支援の質向上に向けた取り組みとして意義深いものと考えます。

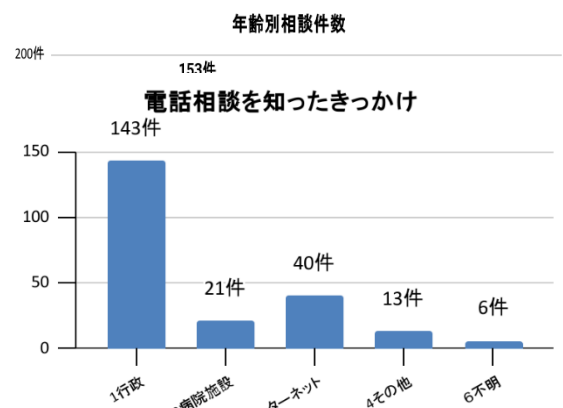
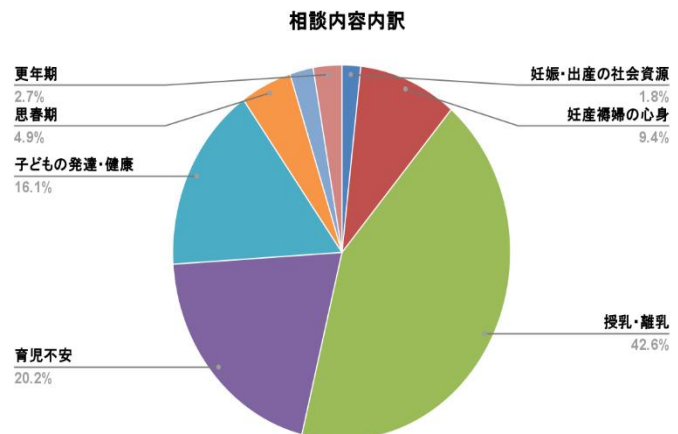
また、男性からの相談も13件あり、育児休業中の父親が相談の窓口となり、スピーカーを通して母親と共に話を聞く
ケースもみられ家族単位での支援の広がりを感じる結果でした。

「相談を知ったきっかけ」としては、母子健康手帳交付や新生児訪問など「行政機関を通じた案内」が最も多く、次い
で「インターネット」、「病院・産院からの紹介」が続きました。

相談件数の多い自治体では、行政や医療機関からの直接的な案内が多い傾向がみられました。

一方、相談内容は産後の授乳や育児不安が中心であり、妊娠期よりも産後の方が利用につながりやすい可能性が示
唆されることから事業認知のためのフライヤー配布のタイミングを検討する必要があると考えます。

相談結果としては、多くのケースで相談者の納得を得ることができ、必要に応じて関係機関への紹介を行うことで、
地域における子育て支援の連携にもつなげることができました。今後も、相談者のニーズや社会状況の変化を踏まえ
ながら、より活用される相談体制の検討を進めていきたいです。



7. 産後ケア（市川市）

福住 梨奈 2 地区 にじ助産院(出張専門)

市川市は、千葉県北西部に位置し、東京都心へのアクセスが良く、人口約 49 万人台、年間出生数約 3,500 人と、千葉県内でも規模の大きな都市です。

市川市の産後ケア事業は、2019 年(平成 31 年／令和元年)に宿泊型から開始されました。コロナ禍を経て、支援不足や産後の孤立が地域課題となっている中、安心して育児ができる体制づくりが求められるようになり、市川市保健センターと千葉県助産師会会員との協議を重ね、令和 4 年より支援の必要性が高い方を対象にアウトリーチ(訪問)型産後ケアが開始されました。

アウトリーチ型産後ケアの開始から利用件数は年々増加し、令和 6 年度には年間 259 件の利用がありました。さらに令和 7 年度からは、市川市に住民票がある産後の方であれば誰でも利用可能となり、今年度はこれまで以上に利用数の増加が見込まれています。現在は 2 地区以外の会員の協力も得ながら、12 名の助産師で構成するチームでアウトリーチ型産後ケアに従事しています。

市川市アウトリーチ(訪問)型産後ケアの利用数

年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
利用数	46	134	259

市川市保健センターとは定期的に打ち合わせを行い、利用に関する取り決めや情報共有の方法などについて協議しています。対面で意見交換することにより、日頃から利用者に関する報告や相談も共有しやすい関係性となっております。現在は、メールで保健センターから産後ケア訪問の依頼が届く仕組みとなっており、個人情報を含む資料についてはパスワード管理を行っています。訪問依頼があった際は産後ケア助産師チームで共有し、対応可能な助産師が手を挙げ、コーディネーターが担当を調整しています。

市川市では、多胎児家庭や精神疾患を合併する妊産婦からの産後ケアニーズも高い状況です。令和 7 年度には、保健指導部会主催の「産後ケアにおける多胎児家族支援」や、2 地区主催の「産後ケアにおけるメンタルヘルス」に関する研修・講義に参加しました。今後も利用者一人ひとりのニーズに寄り添い、助産師だからこそ提供できるきめ細かな支援ができるよう、チーム内で相談・連携を重ねながら、産後ケア訪問の質の向上に努めていきたいと考えています。



保健センターとの打ち合わせの様子

8. 千葉県助産師会創立 100 周年記念事業について

100 周年記念事業実行委員会 実行委員長 加藤 ほのみ 9 地区 ほのみ助産院

いよいよ創立 100 周年の記念すべき年を迎えました。現在、実行委員が一丸となり、準備を進めております。「つぎの 100 年も助産師とともに」をテーマに掲げ、2026 年 9 月 26 日「ホテルポートプラザちば」にて記念行事を開催いたします。当日は式典のほか、大出春江氏による講演会、そして会員の皆様を主役とした祝賀会を企画しております。また、本会の歩みを凝縮した記念誌も発行いたします。いよいよ記念行事・記念誌ともにお申し込みが始まりますので、会員の皆様はリーフレットをご確認ください。この歴史的な節目を一人でも多くの皆様と分かち合えるよう、委員一同、皆様のご参加を心よりお待ちしております！



100 周年記念事業実行委員

9. 令和 7 年度表彰者



健やか親子 21 内閣府特命大臣表彰

米村 洋子 様

千葉県看護功労者表彰 知事表彰

佐々木明代 様

千葉県母子保健事業功労者知事表彰

來田 美鈴 様 稲葉 和子 様

日本家族計画協会会長表彰

安達 桃子 様

公益社団法人母子保健推進会議会長表彰

栗島 寿恵 様 根岸 雄子 様

恩赦財団母子愛育会会長表彰

小路 和子 様 加藤 睦 様

公益社団法人日本助産師会会長表彰

鶴岡利江子 様 山中 真弓 様 久保 幸代 様

公益社団法人日本助産師会名誉会員

齋藤 葉子 様



祝 おめでとうございます



お知らせ



1. 研修会について

※詳細は千葉県助産師会ホームページ("http://www.midwife-chiba.org")にてご確認下さい。

開催日	時間	研修会名	場所	担当
6月	未定	J-CMELS ベーシック講習	レディースホームクリニック クリニックやわた	教育委員会
6月28日(日)	9:30~12:30 13:30~16:30	NCPR スキルアップ研修	千葉市民会館	教育委員会
未定	未定	「愛されるために生まれてきた」上映会&シェア会		助産所部会

2. 理事会の日程 4月~7月

	開催日	時間	場所
第1回	4月12日(日)	9:30~12:30	千葉市文化センター 会議室5
第2回	4月26日(日)	13:10~	千葉市文化センター セミナー室
第3回	6月14日(日)	9:30~12:30	ZOOM
第4回	7月26日(日)	9:30~12:30	ZOOM

3. メーリングリストについて

- ・氏名や住所の変更があった場合は速やかに変更手続きをお願いいたします。
- ・メーリングリストに登録すると助産師会と関連のある団体の研修会の案内等も届きます。

編集後記

2月、ニュース等では日本海沿岸の豪雪に関する情報が常時流れています。尋常でない積雪量を目の当たりにし、そこに暮らす人々の大変さが容易に伝わってきます。一方、私たちが暮らす千葉県は晴天が続いており、日本列島の気候の特徴を思い知らされます。さて、この原稿の編集時期はミラノ・コルティナ冬季五輪が開催されます。冬の競技は速さ・高さ・回転が特徴の種目が多く、視聴する側も思わず息を止めてしまいます。日本人選手の活躍を応援しつつ、広報委員も令和8年度に向けた準備を始めています。次年度も執筆等で協力していただく皆様に感謝し、春の訪れを載せた大潮をお楽しみください。

広報委員：齋藤明子・佐藤幸江・富田三奈子

